

こんにちは 議会です

紀の川市議会だより

平成23年[2011]8月1日発行

No.18

- 定例会報告 2
- 市政を問う（一般質問） 4
- 委員会報告 10
- 「特集」紀の川市の歴史を散歩Part 11 14

なかよく水あそび
(れもん保育園)

平成23年第2回定例会

平成23年第2回定例会は、6月17日から7月7日までの21日間の会期で開かれました。

本定例会には、17件の議案が提出され慎重に審議した結果、すべて原案のとおり同意・承認・可決しました。

また、一般質問では、9名の議員が登壇し当面の行政課題を質しました。

平成23年度一般会計 補正予算（第1号）

■災害用備蓄物資を購入 【97万4千円】

東海・東南海・南海地震に備え、飲料水1万5千936本、アルファ米1万700食、パン5千400個などの災害用備蓄物資を購入します。



■農山漁村活性化

プロジェクト支援事業

【3千万円】

■戦略作物生産拡大関連 基盤緊急整備事業

【2千万円】

地域活性化のための基盤づくりとして、ため池5箇所を整備します。

整備する池は、打田地区南新池（重行）、宮の池（登尾）、上ノ池（赤尾）、海神池（神領）、貴志川地区奥の池（丸栖）となります。

■農地・水向上活動支援交付金事業 【879万2千円】

これまでの農地・農業用水等の資源の日常の保全管理活動に加え、活動組織が行なう農地まわりの水路・農道等の補修・更新など施設の長寿命化のための活動に対して支援を行ないます。



■国民体育大会の施設調査 【200万円】

平成27年に和歌山県で開催される国民体育大会において、紀の川市でおこなう競技施設4箇所の整備内容を調査します。

■介護基盤緊急整備特別対策事業 【1千万円】

桃の木会が桃山町最上地区に認知症対応型デイサービスセンターを整備するための経費を補助します。

パークゴルフ場 用地を取得

紀の川市パークゴルフ場を設置するための用地・建物(旧打田リンクス)を取得しました。【7千3百万円】



パークゴルフ場設置計画図

平成23年第1回臨時会

平成23年第1回臨時会は、5月17日(火)に開かれました。本臨時会には、執行部から5件の議案が提出され慎重に審議した結果、すべて原案どおり承認・可決しました。

長田小学校体育館新築工事着工へ

いよいよ長田小学校体育館の新築工事がスタートしました。

東日本大震災の影響で全国的に工事物資の調達が困難な状況となっているため、少しでも早い完成を目指し、5月10日に8社による指名競争入札が行われました。契約金額は2億2千633万8千円で、平成24年3月末の完成をめざすとのことです。



長田小学校体育館 完成イメージ

いっばん質問

市政を問う

阪中 晃 議員

- 各小中学校の独自性（個性）について
- 小中学校の授業時間が増えるにあたって

西川 泰弘 議員

- 市財政計画の見直しについて
- 市職員の意識改革について
- 安全安心のためにも地域コミュニティの再生を

寺西 健次 議員

- 幹線道路情勢と交通安全対策について

坂本 康隆 議員

- 安心安全紀の川市の防災対策について

岡田 勉 議員

- 震災時の対応について

吉田 隆三郎 議員

- 公共交通の利用促進について
- 避難場所の安全対策について
- 「生涯学習のまち」の取組みについて
- 6次産業化の取組みについて

川原 一泰 議員

- 危険溜池の管理と改修
- 有害鳥獣捕獲金について

田代 範義 議員

- 防災対策について
- ブックスタート事業について

石井 仁 議員

- 学校給食について

一般質問の内容については、要旨のみ掲載しています。

なお、原稿については、各質問者が投稿したものであり文責は質問者にあります。

くわしい内容を知りたい方は、会議録の閲覧ができますので市議会事務局議事調査課までお問い合わせください。（TEL 0736-77-0892）



阪中 晃 議員

各学校の取組みがさらに充実するよう、創意工夫を生かした学校づくりの推進を行っていききたい。

各学校の独自性を

問 各小・中学校の独自性（個性）の発揮を。

答 教育長

学校林を利用し、子供達に豊かな体験をさせている学校、地域共育コミユニティ事業に取り組み、ボランティアの協力を得て学習活動を充実させている学校、全校での朝のマラソンを行い、基礎体力の向上を目指している学校等、取組みはさまざま、各校とも長期目標を見据えた本年度目標を立て、その具体的方策を教職員間で共有し、研究を重ねている。

教育委員会としても各校の取組みがさらに充実するよう、創意工夫を生かした学校づくりの推進を行っていききたい。

ゆとり教育からの脱却

問

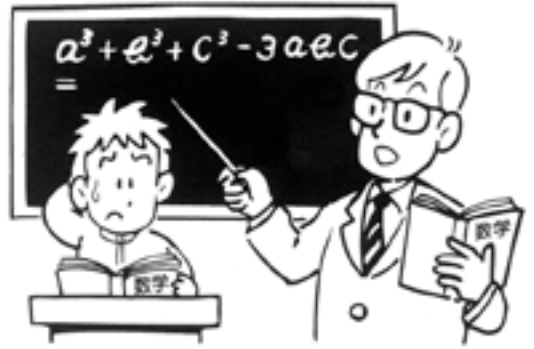
ゆとり教育からの脱却の中で今後の方針は。（特に中学校）

答 教育長

小学校においては本年度から、中学校においては来年度から新学習指導要領による教育課程が実施される。

現在、中学校長会に対して、授業時間を確保するための対策を検討するよう指導している。

来年度、数学では40%、理科では35%のページ数が増える、いろいろな対応の中で、いわゆる、『教科書を教える』のではなく『教科書で教える』という考え方で指導していきたい。



現在、全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、学力向上のための方策に取り組んでいる。

それぞれの授業の中で、理解が十分ではなかった生徒に対して、始業前や放課後を利用した補充学習、さらに夏・冬休み等における学力補充等の指導を行っている。

指摘の習熟度別指導は、そのような学力向上のためのも一つの方法であると考え、教育委員会では習熟度指導も含め、多様な指導方法・体制を研究していく。

京奈和道25年度部分開通

問

建設中の幹線道路の開通時期を問は。

答 建設部長

京奈和自動車道の高野口打田間は、平成25年度に開通の予定。
粉河寺北側の県道西川原粉河線は平成24年春に開通の予定。



建設中の井田中ノ才線

JA紀の里農産物流通センター横の市道、井田中ノ才線は平成24年度末の開通を目指す。

問

大型農道の開通の時期は。

答 農林商工部長

河南地域の大型農道「紀の里広域営農団地農道」は営営で実施されており、予算面では国からの「農道事業の廃止」等厳しい点もあるが、那賀工区を早く完成させ、粉河工区の早期着手を県に要望していきたい。

さらに交通安全対策を

問

幹線道路の平成23年度整備予定は。

答 建設部長

国道24号線では、那賀・粉河歩道整備と粉河松下

橋の改良工事の調査。
国道424号線では、貴志川町での歩道工事の完成を目指す。

問

市民より交通面で「危険」との指摘がある所の対策は。

答 建設部長

粉河駅前通り西行き、県道粉河寺線・立石川より西方面は急に狭くなっており、幅を県に強く要望したい。

黒川・鞆渕を通る県道かつらぎ桃山線は順次幅が進められており、県も安全対策として外側線等の白線の復旧を実施したいとの事である。

県道と歌山橋本線麻生津北浦地区の歩道整備に伴う通学路の安全対策の実施を県に要望したい。

答 総務部長

粉河長田地区上田井の国道24号横断の安全対策として、信号機設置を岩出警察署へ要望する。

寺西 健次 議員

粉河歩道整備と粉河松下



岡田 勉 議員

早急に 防災対策を

問 日本は世界でも有数の地震国である。当地域においても、今後30年以内に南海地震が60%程度、東南海地震が70%程度の確率で発生するといわれている。

また中央構造線断層帯についても発生確率の最大値では、全国の主な活断層の中では高いグループに入っており、地震災害への対応はまったなしである。今後住民の生命、財産を守るために地域防災計画をどう充実させていくのか。

答 総務部長

国、県などの各種調査等の結果を受けて、新たに被害想定などが示された場合に速やかな地域防

災計画の修正を行い精度を高めるように進めていく。

大地震で 大きな役割

問 震災時の要援護者への対応として、福祉避難所の指定はどのようになっているのか。また人的支援は。

答 保健福祉部長

法人との間で要援護者の受入れについて協定を締結しており、現在ではこれが福祉避難所としての考えである。

大災害の場合は対応できないうので指定避難所の見直しの中で、福祉避難所として利用できる施設の位置づけを協議する必要があると思っている。

また、継続的なケアも含め、医師、看護師、歯科衛生士等の専門職の協力体制を今以上に構築していく必要があると考えている。

問 コミュニティFMを災害時の広報手段としていく考えは。

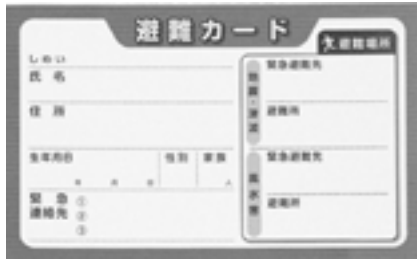
答 企画部長

今後地域コミュニティの情報伝達に伝達できるようなしくみを研究したい。

問 福祉避難所についての市長の考えは。

答 市長

必要性はわかっているが今後どういう対応で受け皿を考えていくか検討したい。



県民に配布される避難者カード



川原 一泰 議員

危険溜池 調査と改修

問 地震災害を想定した危険ため池の堤体・余水吐の改修をどのようにやるのか。

答 農林商工部長

和歌山県が東南海・南海地震に係る地震対策特別措置法に基づく防災対策推進地域の指定を受け、堤防の決壊等により公共施設や民家に重大な影響を及ぼすため池を中心に平成16年から調査を実施している。

本市においてもため池の堤高や貯水量等の規模により78ヶ所が対象となり、平成17年度中に堤体付属施設の老朽化や下流域への被災影響度といった内容の調査を完了している。

この結果を受けてさらに詳細調査が必要と思われる48ヶ所については、土質調査・ボーリング調査・解析診断までを行なっており、安全性の診断を進めている。

満水時の危険性を回避する手段として、堤体の改修をしなくても余水吐を下げることでため池の機能を損なわず、かつ安全性が確保できる改修についても制度にのせて水利権者、地元の皆様と十分話し合いの中で進めたい。

答 市長

阪神・淡路大震災、東日本大震災を目の当たりにして危険ため池の改修整備は絶対やる必要があると思う。

住民の皆様と共に危機感を持ち、池の余水吐を下げて常に水位の管理をする堤体の改修については、国・県と地元の皆様と十分話し合いをしながら進めていきたい。



捕獲されたイノシシ

ワナ捕獲金増額を

問 平成22年猟期外捕獲実績は、銃捕獲57頭(報奨金1頭当たり1万円以内)、ワナ捕獲424頭(報奨金1頭当たり6千円以内)であるが、銃捕獲とワナ捕獲との報奨金の格差は農作物被害を守るための格差をどう縮めるのか。

答 市長・農林商工部長

農家としては一頭でも多く捕獲して欲しいため、この格差をできるだけ縮めて多く捕獲して頂けるように国・県とも協議しながら、体制づくりを行なう。



田代 範義 議員

体育館に生活品の備蓄を

問

地震等の災害発生時、学校施設は地域住民の応急的な避難所となるが食料、生活必需品等置かれていないのが現状です。早急に耐震化とあわせて避難所としての防災機能として生活必需品等を備蓄すべきでは。

答

総務部長

食料の備蓄については避難所として指定し、多くの避難者が予想される小・中学校を中心に近隣の公共施設を考えているが、学校施設への備蓄についても、東日本大震災で学校が避難所として利用されている中、国では大規模災害時、学校を防

災拠点と位置づけるよう検討しており、国の動向を踏まえ、教育関係者と協議検討したい。

支援システムの導入を

問

災害発生時には、行政の素早い対応が被災者支援ならびに復旧・復興には不可欠であり、被災者に氏名、住所など基本情報や被害状況、避難先り証明の発行などを管理する被災者支援システムを取り入れては。

答

総務部長

阪神・淡路大震災の折りに西宮市の職員が、震災業務支援システムを開発し、救済、復旧復興業務をおこなう上で効果を発揮したものであり、紀の川市としても早急に取り入れていきたい。

絵本を市で買っては

問

ブックスタート事業は赤ちゃんとお母さんが絵本を見ながら、親子のきずなを深める運動であり全ての赤ちゃんと保護者が対象です。市でも母子保健推進員の方が絵本を買って実施しているが、市が絵本を買って実施できないのか。

答

保健福祉部長

今後は、市が絵本を買って各種団体とも連携をとりより一層の充実を図りたい。



さらなる行財政改革を！

問

東日本大震災の復旧・復興で、国の財政はさらに厳しくなると思われる。それに伴い市の財政計画も見直す必要があるのでは。

答

総務部長

市の財政への影響については不透明な状況である。国の地方財政対策を注意深く見守り、大震災の影響により市の財政計画に大きな変更が生じる場合は事業計画の見直しを含めて財政計画を改訂する。

問

地方分権の流れの中で市運営の独自性が問われている。

今までのたて割り、横ならび、先例主義と云っ



西川 泰弘 議員

た公務員意識の改革を。

答

総務部長

能力、成果を重視した成績主義への変革を図る「人事評価制度」を試行導入し、自己啓発意識の高揚と人材育成を促進していく。

コミュニティの再構築を！

問

今回の震災においても地域のコミュニティが維持されているところは人的被害が少なかった。「共助」の力を発揮するためにもコミュニティの再構築が必要ではないか。

答

地域振興部長

価値観が多様化する中で地域における連帯感が希薄化し、地域が本来持っている相互扶助の機能が低下している。



さらなる改革を

支所機能の役割を見直し、市民同士のつながりを再構築していきたい。また行政と市民一体となった「協働」の町づくりの一助として「移動市長室」を各支所、出張所で開設する。

答

市長

市財政は厳しくなると予想される。さらに行政改革を進める。また「移動市長室」を開設し、市民に市財政の厳しい状況を話し、市民の声を聞き、ご理解ある、ご協力をお願いする。



坂本 康隆 議員

今回の大震災を教訓に

問 紀の川市は内陸にあるため、中山間の孤立集落対策は。

答 総務部長

災害時において通信手段の確保と被害者の救援が最も緊急かつ重要である。
新潟県中越地震では、旧山古志村など多くの集落が孤立したが、その教訓に学び孤立集落対策マニュアルの作成を検討し、孤立地域の集会所等に備蓄物資の配備など災害時の対応に努めたい。

問 指定避難所、避難経路は。

答 総務部長

指定避難場所は見直しを進め、地震・風水害に対応可能な公共施設を指定するよう進めている。

公共施設まで遠い地域は危険性が極めて低い集会所も一時的避難所と考えている。

避難所の見直し後は、避難経路の再チェックを行う。

和歌山北部地震確率14%

問 災害時の初動対応、職員の役割は。民間の役割は。

答 総務部長

職員の役割は部門ごとに職員の災害活動マニュアルを作成し職員一人ひとりが活動が速やかに見える対応力の強化に努めている。



岩手県大槌町被災地

民間の役割は、災害時の安全確認、情報伝達、救助の初動対応は地域の自主防災組織であると考え、今後も地域防災の充実強化に努める。

答 市長

近い将来東南海・南海地震が予想されているが過去の災害の教訓をもとに、市民の生命、財産を守るため、防災体制の一層の強化に取り組んでいく。



吉田 隆三郎 議員

鉄道は貴重な財産！

問 全ての駅にトイレ、手洗場を設置し、快適な駅の整備を行っては。

答 企画部長

下水道の整備状況を考慮し検討したい。
問 貴志川線の運営補助が平成27年度で終了する。和歌山電鐵は多彩な取組で経営努力をしている。補助の継続が必要と考えるが。

答 企画部長

市民生活に不可欠な路線であり、経営状況を見ながら和歌山市や県と相談し検討したい。



乗って残そう貴志川線

問

貴志駅の周辺整備開発計画があると聞いている。関係する住民と合意の上で計画しているのか。

答 企画部長

関係する住民と協議し十分に意見をお聞きして効果的な整備を進めていく。

答 市長

具体的な進めは地域や用地に関係する皆さんと相談し、早い時期にやるよう進めたい。

安心の出来る避難所に

問 災害時の避難場所を指定しているが、中には危険区域内の所もある。安全対策をどのように講じていくのか。

答 総務部長

危険区域内にある避難所の指定を見直し、危険性が低い地区集会所を一時避難所として活用する予定で見直していく。

商品開発の研究

問 地域資源を活用する研究を地元大学と共同して進め、地元産業を生み出す取組みをどうするか。

答 市長

農業の振興を図る為にも地元大学、企業と連携し、今後の課題として勉強して進めたい。



石井 仁 議員

自校給食の継続こそ

問 教育委員会は、自校方式の打田、桃山の中学校、貴志川管内の小学校、民間委託で実施している貴志川中学校の学校給食を、センター方式で実施する。そのために4千食対応の給食センターを、平成27年度までに建設・運用開始する計画を打ち出した。

自校給食の継続と発展こそ食育につながり、子どもたちのためになると考える。センター方式化の方針は、検討し直すべきと考えるが。

答 市長

教育委員会として検討委員会を立ち上げていただいて答申がなされ、センター方式という方向付

けが出されている。まともていただいたことを尊重してセンター方式で進めていくべきであろうと思っている。

問

意向調査など、保護者や児童生徒の意見を聞くプロセスを経ずに方針化したこと、さらに、学校によっては質疑時間を設けないで説明会を行ったことなど、方針化の過程と、説明責任において、問題があると考えますが。

答 教育部長

P T A 総会では質疑時間が設けられなかった学校もあるが、学校長を通じて、学校教育課に対して、申し出をいただくようにお願いをしている。

4千食分の地産地消

問 4千食という規模で、地元産の野菜や果物が、継続的に確保できるのか。地産地消による食材調達の際の限界を超えるのではないか。

答 教育部長

4千食の規模について、一カ所で十分供給可能だと考えている。地産地消の食材調達も、小学校と中学校とを別メニューにすることで、可能であると考えている。



11時に配送(粉河センター)

暑中お見舞い申し上げます

公職選挙法等の趣旨に基づき、暑中見舞いなどのあいさつ状を廃止しておりますので、紙上をもってごあいさつにかえさせていただきます。市民皆様のご健勝をお祈りいたします。

紀の川市議会議員一同

虚礼廃止にご理解・ご協力を!

市議会では、公職選挙法等に基づき、虚礼を廃止した議員活動を行っています。具体的には、次のような項目です。市民の皆様のご理解・ご協力をお願いします。

- ◆冠婚葬祭、慶事、見舞いおよび各種行事等における寄付行為の禁止 (本人が出席する結婚式の祝儀、香典等は除く)
- ◆あいさつ状の禁止
- ◆議員名、議員団名および会派名による年賀・暑中見舞い等の各種広告の禁止
- ◆中元や歳暮の贈答はしない
- ◆お祝い・おくやみ電報等を出さない (親戚・友人は除く)

総務文教常任委員会

総務文教常任委員会は5月20日、紀の川市の危機管理体制について所管事務調査を行いました。

主に市内の地域防災に係る施設等と地域防災計画で重要水防箇所指定されている河川の現地調査を行いました。

まず、最初に地域の火災等に備え、昨年度新設された防火水槽が一体となった消防器具庫の施設

見学を行いました。器具庫内にはポンプ積載車を始め、消防用や災害・救助用資機材一式が保管されています。

また、器具庫の建替えについては、地域からの用地の寄附を前提に、地元の要望を踏まえ、老朽化した器具庫の整備を段階的に行っています。

次に、重要水防箇所指定されている栢榴川左



●妙見排水機場にて

妙見排水機場は昭和58年、県による、かんがい排水事業で設置されたものです。排水機場

とは洪水時、河川からの逆流を防ぐために樋門を閉めた時、大型のポンプにより溜まった水を強制的に河川に吐き出し、流域の浸水被害を軽減する重要な施設であり、市内には桃山町地内に4箇所と旧那賀町地内に3箇所

の計7箇所設置されています。洪水時の操作は地元の消防団へ市より委託しています。

また、排水機場と併せ、洪水対策として、樋門・樋管が挙げられますが、市内には全部で45箇所設置され緊急時に備えています。

今後、数十年の間に必ず起こるといわれている東海・東南海・南海地震も心配される中、紀の川市内には河川やため池、地すべり等まだまだ危険とされている箇所がたくさんあります。

今後さらに調査を進め、国や県の所管関係機関へ早期改善を働きかけるとともに、安心・安全な紀の川市の推進に努めていく必要性を強く感じました。

厚生常任委員会

5月26日、介護保険施設や高齢者施設についての所管事務調査・視察研修を行いました。

紀の川市の人口のうち65歳以上の方が占める割合は、平成23年3月末時点で25・4%となっており、平成26年には28%になる見込みです。

高齢介護課からは、現在介護認定を受けられている方が約4千人いるが、そのうち約4割は要支援1・2の認定であるので、

今後重度化させないための介護予防が課題であると説明がありました。

説明を受けた後、粉河にある「那賀老人福祉施設組合 白水園」と、桃山町最上にある「自然の郷」を視察しました。

白水園は、紀の川市・岩出市の2市による組合で管理・運営されています。

昭和27年から事業を開始し、昭和40年に現在の施設が建設されましたが、

者が生きがいをもって、家庭的な園生活が出来るようにと、スタッフが多様な取り組みをされているのが印象的でした。

次にグループホームと高齢者優良賃貸住宅が隣接して建てられた自然の郷を視察しましたが、平屋建てでバリアフリー化されており、食堂などの共同部分は家庭的でありながら、寝室など個人の部屋はプライバシーがしっかり守られており、スタッフに見守られながらも自由に暮らせる環境がありました。

高齢者優良賃貸住宅では、一定の所得以下であれば、国や市から家賃の補助を受けることができます。

また、事故や急病などの緊急時に対応してもらえるサービスや、介護が必要な状態になった時には、介護保険を利用し、他の介護事業所のサービスが受けられる体制が整っており、安心して老後がすごせる施設であると感じました。



●那賀老人福祉施設組合 白水園

施設が老朽化が進んでいることや、施設東側は急傾斜地に面し危険なため、平成28年3月末をめどに民設民営化する方針が出されています。現在110名の方が入所されていますが、入所

産業建設常任委員会

5月24日、建設部所管の「市道等改良・管理事業」「まちづくり交付金事業（名手駅前地区）」農林商工部所管の「ため池ハザードマップ」「紀の里地区広域営農団地農道整備事業」「ため池等整備事業」について所管事務調査を行いました。紀の里地区広域営農団地農道は、和歌山県が、紀の川左岸地区の基幹農道を整備し、流通体系の整



●広域農道「横谷3号橋」視察

名手駅前地区整備事業は、交通の利便性、防災性、住環境に優れた市街地づくりを目的に道路の拡幅、照明施設、災害時の避難場所として活用できる公園（耐震性貯水槽設置）を整備しています。

の横谷3号橋の工事現場を視察しました。

備、農業経営の確立、地域生活の利便性の向上を目的に事業を進めています。この事業は、九度山町から紀の川市までの24.5kmを整備する計画で、そのうち紀の川市管内は、約6.5kmで、現在42%が完了しています。紀の川市では、平成7年度から事業が始まり現在までの事業費は、約118億円、紀の川市の負担は、11%です。今回は、那賀地区

事業費は、約17億円で、平成18年度から始まり本年度末に完了予定です。ため池等整備事業は、三谷地区の別所池を視察しました。ため池は用水機能、洪水発生の抑制、防火用水源など多くの機能をもつ重要な施設です。

市内のため池の中には、老朽化による漏水、侵食により施設の機能が低下しているため池があり、和歌山県では、地域住民や農地を災害から守るため施設の整備、補強を行なっています。別所池は、貯水量16万9千³m³、灌漑面積10.1haで、樋、堤体を改修しています。事業費は、国が50%、県が40%、紀の川市と地元がそれぞれ5%負担します。その他、市道の修繕、改良要望の取り扱いや対応状況、ため池の堤防が決壊した場合の浸水想定区域等を記載した「紀の川市ため池浸水ハザードマップ」について担当課から説明を受けました。

この他各常任委員会は、6月議会開会中に開催した委員会で、付託案件を審査した後、それぞれ所管事務調査を行いました。

総務文教常任委員会は、

「紀の川市の学校給食について」調査しました。学校給食は、現在、施設整備計画が進められていて、その中で自校方式の給食施設を視察し、現状と課題について、施設が老朽化している、手狭であるなど担当者から説明を受けました。

厚生常任委員会は、

「紀の川市の水道事業について」調査しました。予算規模、職員の体制、施設管理体制、布設替の計画、緊急時の対策、下水道事業との関係など担当者から説明を受けました。



●西貴志小学校 給食室

産業建設常任委員会は、「紀の川市の下水道事業について」調査しました。調査は、岩出市に建設されている、下水処理施設的那賀浄化センターに行き、処理能力、処理工程や施設整備の計画等の説明をうけ、実際に処理が行われている状況を視察しました。又、紀の川市の下水道事業の整備状況についても供用している場所、これからの整備計画について説明を受けました。



●那賀浄化センター（岩出市中島）



全国市議会議長会 特別表彰を受賞

平成23年6月15日(水)に東京都の日比谷公会堂で開催されました第87回全国市議会議長会定期総会において、次の方々が永年の議員活動に対し全国市議会議長会長から表彰されました。



- 原 延治 議員(議員在任20年以上)
 - 上野 健 議員(議員在任10年以上)
 - 岡田 勉 議員(議員在任10年以上)
 - 高田 英亮 議員(議員在任10年以上)
 - 竹村 広明 議員(議員在任10年以上)
 - 西川 泰弘 議員(議員在任10年以上)
- (※町議会議員在任期間は1/2年として計算)



“めざせ グランプリ”

7月11・12日の両日、阪中委員が編集委員会代表として、地域密着で親しまれる広報紙づくりを学ぶため、大阪市北区の毎日インテシオにて「第24回近畿市町村広報紙セミナー(毎日新聞社主催)」を受講しました。

近畿圏内の各自治体、57団体から65人が参加し、編集局次長や新聞記者、カメラマン、作家等が講師となり、取材の仕方や見出しの付け方、読者にわかりやすい文章や写真の撮り方等について実践で学ぶことができました。

秋には、セミナー参加団体の広報紙を対象としたコンクールが開催されるため、参加者は熱心にメモを取るなど聴き入っていました。

私たち編集委員も、これからもなお一層努力し、見やすく、読みやすい議会広報をめざして頑張っていきますので、ご期待ください。

市議会

今回は、市議会の本会議についてお知らせします。

本会議って？



紀の川市議会本会議場

本会議は、議員全員が議場に集まって議案などを審議し、議会の意思を決定する最も重要な会議です。会議の成立には、議員定数の半数以上の出席が必要です。

国会に通常国会と臨時・特別国会があるように、市議会にも定例会と臨時会があります。

定例会・・・年4回（3月、6月、9月、12月）開かれます。

臨時会・・・特定の案件だけにしぼって開かれ、回数に制限はありません。

本会議では、提出された議案などについて説明があり（提案説明）、これに対して議員は疑問点などを聞き（質疑）、賛成か反対の意見を述べ（討論）、議会としての意思を決定します（採決）。

また、詳しく審査するため委員会に付託することが出来ます。

（こんにちは議会です17号参照）

付託した案件は審査結果の報告の後、質疑、討論、採決します。

こうして議決の後、施策の実施にいたります。

— 議案が可決されるまでの流れは、すべてが1日で済んでしまうわけではありません。会期中、何日間かに分けて行なわれます。—

このほかに議員は定例会に限り、市政全般について質問（一般質問）をすることができます。

なお、本会議は公開が原則で、傍聴することができます。会議の内容は議事録として保存されます。（※会議録については、各図書館でも閲覧できます。）

お隣さん岩出市へ

番外編

特集

紀の川市の歴史を散歩

Part 11

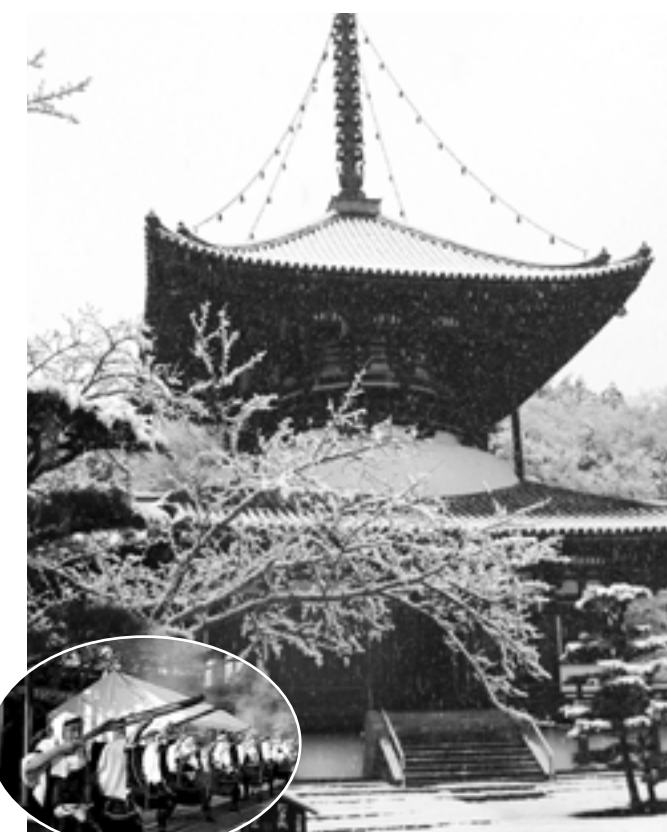
今回の歴史の散歩は番外編として、日頃から親交のあります

お隣の岩出市議会のみなさんに記事の提供をいただきました。



見所満載
みんなで
来てね!

岩出市
イメージキャラクター
「そうへいちゃん」



紀の川市の皆さん、こんにちは。
今回は、紀の川市議会のご厚意により、
岩出市議会が春は桜、秋は紅葉の根来
寺の紹介をさせていただきます。

- 根来寺とは
正式名称は、一乗山大伝法院根来寺と言ひ新
義真言宗の総本山です。本尊は、大日如来。
開山は、覚鏝(かくばん)上人。諡号(しごう)
は興教大師。創建年は今から880年ほど前の、
長承元年(1132年)。
文化財は、
- 国 宝……………大 塔
 - 重要文化財……………大師堂・大日如来坐像
金剛薩坐像・尊勝仏頂坐像
 - 県指定文化財……………大伝法堂・光明真言殿
不動堂・大門・行者堂
 - 市指定文化財……………聖天堂

▲根来と言えばなんと言っても国宝の大塔。新義真言宗の
象徴であり、教義の心髄です。高さ40m、幅15mの日本最
大の多宝塔です。文明12年(1480年)頃に建築が始まり
天文16年(1547年)に完成。
当時の根来の隆盛が偲ばれ、大日如来様にも見えますよね。

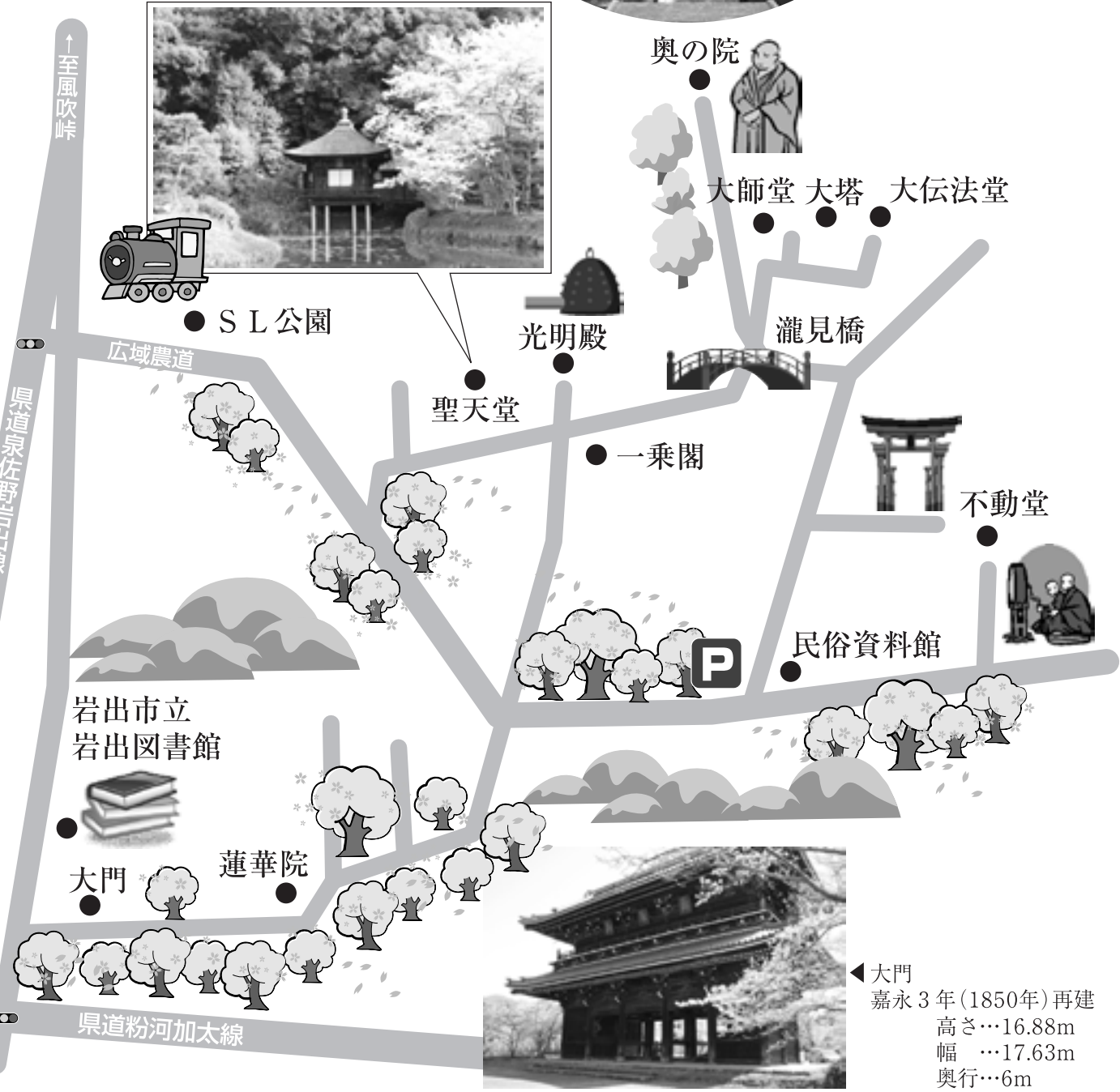
▲毎年11月に行われるかくばんまつり
根来鉄砲隊の演武

根来の歴史

高野山の僧で空海以来の学僧と言われた覚鏝(かくばん)上人が、高野山内に 伝法院を建てたことに
始まります。鳥羽上皇の院宣を得て、大伝法院と密
厳院を建立。さらに、金剛峯寺の座主に就任しました。
高野山内の衆徒はこれに反発し、覚鏝一門の寺院
が焼き討ちされる事件が発生。覚鏝一門は、根来に
あった豊福寺に拠点を移し、さらに伝法会道場とし
て円明寺を建立。これらを中心に、一山の総称とし
て根来寺が形成されていきました。
さらに、1世紀以上後の正応元年(1288年)に大伝
法院の学頭であった頼瑜(らいゆ)上人が 大伝法院
の寺籍を根来に移しました。
根来寺は、室町時代後期に最盛期を迎え、坊舎・
院家2700、寺領72万石と伝えられるほどの大寺院と
なりましたが、天正13年(1585年)に豊臣秀吉の焼
き討ちにあい、大師堂、大塔など数棟を残すのみと
なりました。
江戸時代に入り、紀州徳川家の庇護のもと一部が
修復され現在にいたっています。



▲覚鏝(かくばん) 上人を守ったとされる身代不動尊
を祀る不動堂。悪縁を絶つお不動様。
必要がある方は探してみても?



◀大門
嘉永3年(1850年)再建
高さ…16.88m
幅 …17.63m
奥行…6m



★大賀ハス(平池公園)



★堤防改修記念 鯉の放流 (貴志川西山大池)



★上名手小学校の児童たち



★名手本陣での演奏会



★桃の出荷 (西部流通センター)

編集後記

暑中お見舞い申し上げます。
 さて、本年3月11日に発生した東日本大震災よりはや4ヶ月が過ぎました。被災地の皆様には政府における対策の遅さに深い苛立ちをもってのことと思います。
 私は、最近NHKで放送されている「イ・サン」という韓国ドラマを見て感動しています。韓国の王朝時代における歴史物語であります。
 その中で、王は「政治は民のためにある、民の幸せを考えず政治をつかさどる者は王にあらず」といわれました。
 まさにその通りだと思います。
 国会においても、党利・党略など考えず、今一番先にするのは被災地の復旧・復興ではないでしょうか。
 私達市議会一同は、広報誌を通じて皆様方のご意見をいただきながら、益々頑張つてまいります。
 (H・T)